

看護学教育における教育方法に関する研究

【キーワード：指導過程、リフレクション、
感染看護、教育プログラム開発】

領域・氏名

看護（体験・統合科目Ⅱ；看護教育、等）教授／栗原保子

概要

看護学教育では、社会の変化に伴う医療提供の場の多様化に対応できる看護実践能力を高めるための人材育成の内容や方法を多角的な視点から検討していきます。看護学と教育学の理論に基づいて、教育内容（方法）、教育課程、教育制度等について学修し、どのようなあり方が望ましいのかを探究していきます。

具体的な内容

看護基礎教育および看護継続教育の教育全般において、実践の場で生じている教育現象にみる課題の探究を行っています。看護学生の看護実践に対する自己評価能力を高めるための実習指導方法に関する研究や、看護学生の自己評価能力の向上を目指したCAI<学習支援システム>の開発等、教育実践の過程を研究的に取り組んでいます。また、継続教育では、医療施設の感染管理におけるリーダー育成を目的とした出前方式体験型研修プログラムを開発する等、研究の成果を現場に還元しながら継続的に取り組んでいるところです。

Information（情報）

学生の興味・関心を尊重し、課題探究のための研究支援を行っています。看護学の教育・実践に対する課題解決にチャレンジしようとする意欲のある方をお待ちしています。